

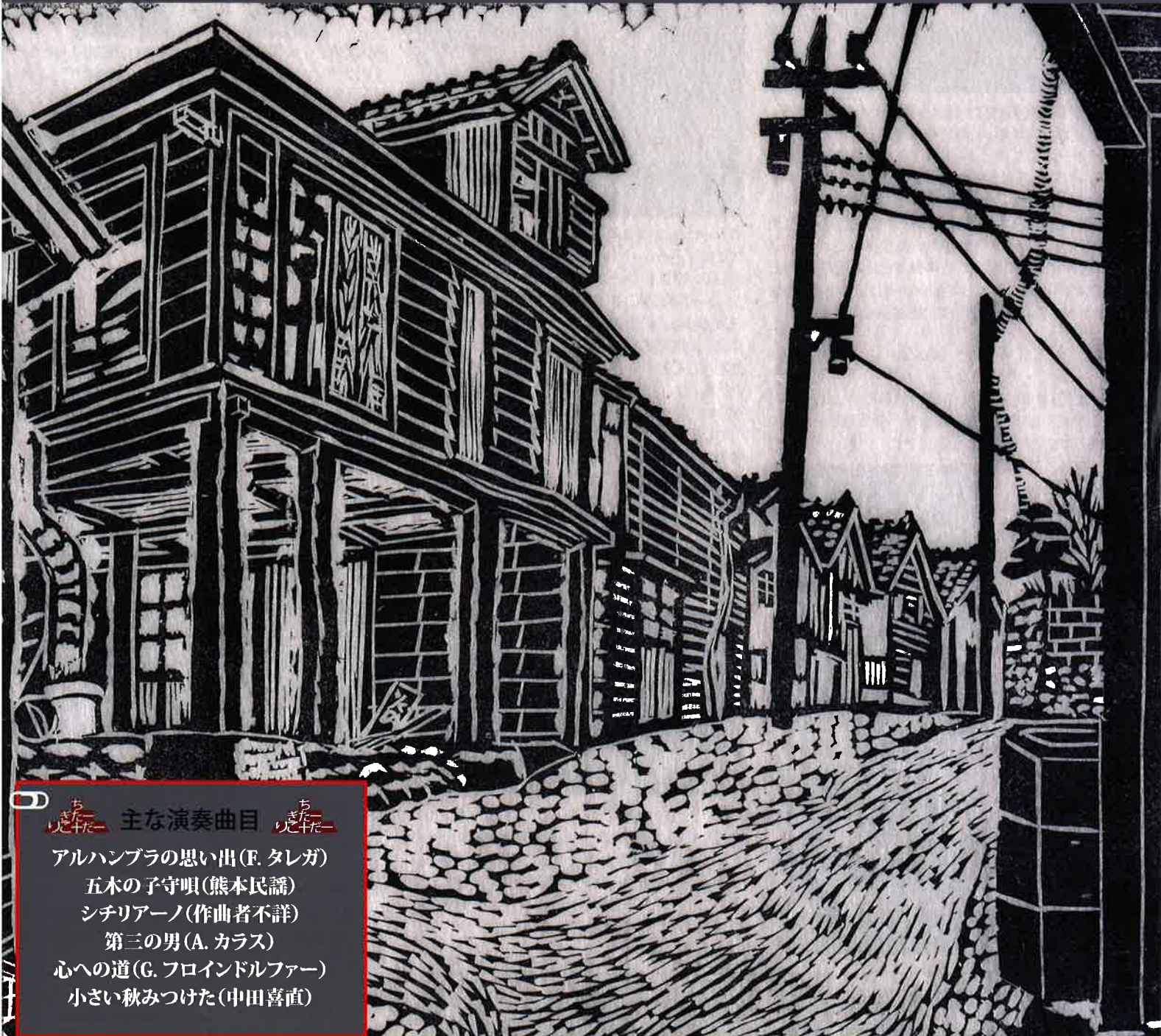
第9回

内藤敏子の奏でる

チターの 夕べ

IN TOKONAME

～温かなチターの音色を常滑の街に～



主な演奏曲目

アルハンブラの思い出 (F. タレガ)
五木の子守唄 (熊本民謡)
シチリアーノ (作曲者不詳)
第三の男 (A. カラス)
心への道 (G. フロイドルファー)
小さい秋みつけた (中田喜直)

版画：歌田真介「常滑の思い出・豊栄製陶」2017

2019年 11月9日 土

開場：18時00分

開演：18時30分



INAX ライブミュージアム

「世界のタイル博物館」

演奏内容

美しい音色のチターは、手軽に持ち運びもでき、ソロ演奏だけでなく合奏も楽しむことができる楽器です。

音色にはチェンバロに似た響きもあり古典曲にもよく使われます。此の度のコンサートでは、内藤敏子さんのチターに大竹尚之さんのリコーダー、青戸久男さんのギターが加わるソロと三人での協奏です。演奏の合間には、内藤さんの味わい深いトークを交え、曲目は古典曲から現代曲まで幅広く、大人だけでなく小中学生の子どもたちにも楽しんでいただける内容となっています。

青戸久男 *Hisao Aoto*



尚美高等音楽院ディプロマ終了。ギターを菊地孝雄氏、山口治良両氏に師事。指揮法を谷慶朗氏に学ぶ。1981年ABCホールにてデビューリサイタルを開き演奏活動に入る。ミラノ・スカラ座の日本公演(アバド指揮)やサンフランシスコオペラ協会制作(小沢征爾指揮)及び新国立劇場(ベニーニ指揮)「セビリアの理髪師」にも出演。サントリーホールにて行われたサッパディーニ・テノールリサイタルにおいては伴奏者として絶賛される。藤原歌劇団のオペラにもギター奏者として出演。他東京フィルハーモニー交響楽団定期演奏会等に出演。

ギター *guitar*

ギターは弦楽器の一種で、6本の(あるいは12本の)弦をそなえ、指やピックで(弦を)弾(はじ)いたり掻き降ろすことで演奏するものです。クラシック音楽、フラメンコ、フォルクローレ、ジャズ、ロック、ポピュラー音楽など幅広いジャンルで用いられる。ギターはスペイン起源の楽器で、ヨーロッパ中世後期の楽器である *guitarra latina* をもとにして、16世紀初期に派生したものと言われている。弦の振動およびその音を空洞のあるボディで増幅させる「アコースティック・ギター」と、弦の振動を微弱な電気信号として取り出し、それを電氣的に増幅させる「エレキギター」の2種に分類される。



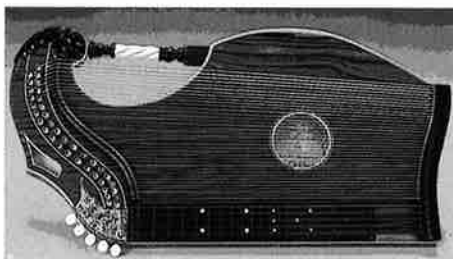
演奏者紹介

内藤敏子 *Toshiko Naito*



チター奏者。幼少の頃よりバイオリンを学び、スイスに留学。チューリッヒ市コンセルバトワールなどで学ぶ。スイス在住十数年間に世界的チター奏者J.コーザに師事、チター演奏家及び教育者の資格を取得する。帰国後は、日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー管弦楽団をはじめとするオーケストラとの協演、「NHK名曲アルバム」、「題名のない音楽会」、「NHKおはよう日本」、「ラジオ深夜便」などに出演する他、国内外で活躍。日本初のチター教育機関を設立し、広く普及・育成に尽力している。親交のあったアントン・カラス家からは『第三の男』に関する多くの未公開資料を託され、2001年に著書「激動のウイーン「第三の男」誕生秘話—チター奏者アントン・カラスの生涯」を出版。日本チター協会会長。

チター *Zither*



ヨーロッパのドイツ、オーストリア、スイスのアルス地方を中心に弾かれている民族楽器。日本の琴のように、ボディの上に弦が横に張られ、5本のメロディー弦と35本前後の伴奏弦がある。机の上に置いて指や爪ではじいて、メロディーと伴奏を同時に演奏する。皇妃エリザベートもチターの名手だった。

大竹尚之 *Naoyuki Otake*



オランダ王立音楽院卒。帰国後は札幌交響楽団、新ヴィジュアルデイ合奏団等とのコンチェルト演奏を行う。パロックオペラ等にも数多く出演。ソロやコンチェルト、アンサンブルなど演奏活動の傍ら台湾、韓国での演奏、指導啓蒙に携わっている。40年前に地域の音楽振興を目指して古楽アンサンブルを結成したり、雑誌や紀要に論文を発表するなど、活動の幅の広さで知られる。前東京音大、フェリス女学院大講師、現在甲府古楽コンクール審査委員長(器楽部門)。

リコーダー *Recorder*

リコーダーの音色は優しく包み込まれるようで、小鳥のさえずりにも似ています。



夏にツバメが、冬に白鳥が来るのを不思議だなーと思いませんか? 天使の現れや天国と言ったミラクルな情景を、渡り鳥の不思議のように、音楽家はリコーダーの音を使って表現しています。明るく陽気に飛び回る小鳥達の軽快な歌と、深遠な神の国の音楽をリコーダーは長い歴史を通して担っているのです。

◆ チケット ◆

チケットはINAXライブミュージアムにて予約、販売しております。詳しくはお電話にてお問い合わせ下さい。

一般・大学生 2500円(前売り) 3000円(当日)
小中高生 1000円(前売り) 1500円(当日)

☎: 0569-34-8282 INAXライブミュージアム
☎: 080-1625-1712 (チター演奏会実行委員/宮地 究)

INAXライブミュージアム

愛知県常滑市栄栄町1-130
<http://www.livingculture.lxil/ilm/>

- 名鉄常滑線「常滑駅」よりタクシーで約6分
- 名鉄常滑線「常滑駅」より知多バス「知多半田駅」行「INAXライブミュージアム前」下車徒歩2分
- 車での越しは、知多半島道路・半田ICより約15分

